



「高鷲北小学校でよかった」と実感する7期を！

高鷲北小学校では、1年間を7つの“期”に分けてテーマを設定して目標達成に向けて取り組んでいます。2月27日から3月24日までは、最終の「第7期」になります。

第7期テーマは『私たちの高鷲北小学校』

(生活目標) 「きずな」を深めて「ありがとう」を伝えよう。
(学習目標) 「最高の姿」で示そう

7期は1年間のしめくくりとして、卒業式や学級目標の達成に向けた取り組みを通して、「高鷲北小学校でよかった」と実感し、新しい年度への意識を高めていく期間です。学級の課題を乗り越え、「学級のみんなでがんばれた」と実感する事実を生活や授業の中でつくっていきます。

昨年4月に掲げた学級目標を達成できた姿を、いくつもつくっていきます。そして、卒業式や修了式を清々しい気持ちで迎え、来るべき次の学年(6年生は中学校)へ自信をもってつなげていける7期になることを願っています。



2/21 6年生主催の「なかよし遊び」より

「6年生ありがとうの会」より

高鷲北小学校では、2月24日(金)、卒業式を一月後に控えた6年生に感謝の気持ちを伝える、「6年生ありがとうの会」を行いました。

企画・運営は5年生の10人が行い、1月から少しずつ準備を進めてきました。また、会当日のためのリハーサルを1～5年生で行うなど、卒業する6年生に対しての感謝の気持ちを丁寧に伝えていこうと進めてきました。1～4年生は、6年生への気持ちを次の活動でも実行しました。

1年生⇒6年生の似顔絵を描き、ホールに掲示しました。

2年生⇒6年生ありがとうの会の招待状をつくりました。

3年生⇒感謝の気持ちを伝えるための「くす玉」にお祝いの言葉を書き、花をつけました。

4年生⇒なかよし班での最後のなかよし遊びの計画と進行をしました。

第1部「なかよし班で楽しい思い出をつくろう」では、最後のなかよし班でのなかよし遊びを4年生の計画と進行で行いました。その後、班交流を行い“6年生への感謝の気持ち”を一人ずつ伝えました。

第2部「感謝の気持ちを伝え合おう」では、ホールに全校で集まり、くす玉割を行った後、6年生が“感謝の言葉”を話してくれました。そして、「なかよし3つの輪～あいさつの輪・学びの輪・歌声の輪」「人権宣言」「祭笛」を6年生から在校生に引継ぎ、これからも伝統を輝かせていくことを誓いました。

